



特色ある学校づくりと  
子ども達の健全育成に向けた事業を活発に

## 教育文化//重点事業と予算

- 教育支援員配置事業.....3,324万円
- 小中学校連携教育事業.....100万円
- 小中学校文化・スポーツ活動支援事業.....880万円
- 小中学校校舎等改修事業.....5,700万円
- 小中学校校舎耐震補強事業.....8億3,787万6千円
- 小学校校舎空調設備改修事業.....3億3,064万8千円
- 公民館改修整備事業.....1,500万円
- 指定管理者制度導入事業(地域スポーツ施設)...4,346万5千円
- 第一学校給食センター更新事業.....1,233万2千円

### 5 人を育み文化を創造するまちをめざして【教育文化】

生涯学習の推進は、第3次生涯学習基本計画の重点プロジェクトの推進を図るとともに、狭山シニア・コミュニティ・カレッジなどの高齢者の学習活動を支援します。また、家庭教育学級などの充実を図り、さまざまな体験活動を通じて子どもと大人の交流活動を支援し、家庭や地域の教育力の向上を図っていきます。

学校教育の充実では、地域に信頼され特色ある学校づくりなどを推進するとともに、アシスタントティーチャーなど、教育支援員の全校配置と指導方法の工夫・改善などにより、基礎的な学力や体力、基本的な生活習慣が、児童・生徒に着実に身につく教育を展開します。また、小・中学校9年間のスムーズな連携を見通した教育のモデル校を委嘱するとともに、英語活動の充実を図るため、6年生を対象とした児童英語検定を実施します。さらに、学校図書館指導員の増員を図り、児童・生徒の読書活動の充実や文化・スポーツの大会などへの参加に対する経済的支援の拡充などにも積極的に取り組めます。教育施設の充実では、地震などの災害時に児童・生徒の安全と地

域住民の避難場所を確保するため、学校施設の耐震性の強化に取り組んでいます。今年度は南小学校と堀兼中学校の耐震補強工事や西中学校と狭山台中学校の耐震補強設計を実施します。

また、快適な教育環境の確保のため、堀兼小学校と人間野小学校の除湿温度保持工事の実施や未実施校の暑さ対策、さらには、体育館屋根改修などの施設・設備の改修を計画的に行います。第一学校給食センター更新事業は、平成21年度一学期からの給食の開始に向

### 6 安全で生活しやすいまちをめざして【市民生活】

地域コミュニティ活動の促進では市民の自主的な活動の拠点となる集会所の増改築や新たな建設、身近な生活環境施設への助成を実施します。

防災・消防体制の充実は、非常事態に際し、市民の迅速かつ安全な救援・救護を行うため、国・県をはじめとした関係機関との連携強化や国民保護に関する狭山市計画を受けた行動マニュアルの整備を図り、危機管理体制の充実に努めます。防災対策の面では、近年多発し

け、PFI事業者による建設工事に着手します。

学校の統廃合は、人間地区と狭山台地区で、それぞれ小学校1校の統廃合に向けて、地元の学校統廃合検討協議会などで、意見を聴きながら進めていきます。

人権の尊重への取り組みでは、人権講演会を開催するなど、さまざまな人権問題に対する啓発活動をとおして、人権意識の高揚を図っていきます。また、市民一人ひとりがお互いの人権を尊重し合う、差別のない明るい社会の実現を目指した活動に、学校教育や社会教育の場などでも積極的に取り組めます。

ている地震や異常気象などによる災害を踏まえ、自主防災組織の育成・強化、災害時要援護者対策の充実に努めます。また、地震ハザードマップの作成により、地域の防災意識の高揚への取り組みや職員参集システムの構築に努めます。さらに、多くの市民が参加する地域密着型の防災訓練を実施します。消防体制の面では、大規模災害に適切に対処するため、消防広域化の推進や化学消防ポンプ自動車更新、特殊災害に対する化学防



地域密着型の防災訓練などとおして  
防災意識の高揚を図る

### 市民生活//重点事業と予算

- コミュニティ施設特別整備事業 ..... 1,750万円
- 市民会館機械設備改修事業 ..... 3億523万5千円
- 消防特殊資器材整備事業 ..... 917万3千円
- 消防機械施設整備事業 ..... 9,200万円
- 地震ハザードマップ作成事業 ..... 750万円

護服と救急資器材の整備などに取  
り組みます。また、救急体制では、  
増加する救急需要に迅速かつ的確  
に対処するため、救急車のさらな  
る運用体制の強化と救急救命士の  
育成などによる救命率の向上に努  
め、AEDを活用した救命講習会

の開催などにより、応急救護の知  
識と技能の普及を図ります。  
火災予防対策では、防火対象物  
や危険物施設に対する安全指導や  
管理体制の整備の徹底を図ると  
もに、家庭への住宅用火災警報器  
などの普及促進に努めます。

### 市民参画と協働によるまちづくり 健全で効率的な行財政運営に努めます

市民参画と協働によるまちづく  
りの推進を図るため、地域と行政  
をつなぐ総合窓口として設置した  
地区センターは、今年で5年を迎  
えます。

(仮称)狭山元気大学」の設立に向  
けて、計画の策定に取り組みます。  
また、財政収支の均衡に配慮し  
た財政収支見込みを策定し、健全  
な財政運営に努めます。このため、  
選択と集中により、効率かつ効果  
的に実施計画事業をはじめとした  
各種事業への予算配分、受益者負  
担の原則による各種使用料及び手  
数料などの適正化、新たな有料広  
告物掲載対象物の開拓や未利用地  
の売却など、自主財源の確保を図  
っていきます。

これまで地区センターは、行政  
への市民参画の機会を拡充すると  
ともに、地域課題の解決など、地区  
まちづくり推進事業を中心とした  
地域の活性化に取り組んでまいり  
ました。今年度は事業費の増額や地区  
センター機能の拡充を図るため、  
出張所を統合し、一層の地域コミ  
ュニティの醸成とにぎわいの創出  
に努めます。

市税収入の確保では、納税率の  
向上に努めるとともに、市民皆さ  
んのライフスタイルの多様化に対  
応するため、市税などの納付窓口  
を拡大し、コンビニエンスストア  
でも納められるようにします。

さらに、地域を支える人材の育  
成とその成果を地域に活かすため  
の仕組みづくりを目的に、シニア  
世代などに向けた専用のキャンパ  
スや、地域貢献に向けた実践的な  
知識や技能を習得するためのカリ  
キュラムを提供する、大人の学舎・

さらに、財務状況に対する説明  
責任と透明性を確保するため、公  
会計制度改革を受けた財務諸表

### 計画の推進//重点事業と予算

- 財務システム支援事業 ..... 1,098万1千円
- (仮称)狭山元気大学プラン策定事業 ..... 321万円
- 地区センター費 ..... 9,643万9千円
- 市税等コンビニエンスストア収納事業 ..... 180万円

の作成と公表に努め、老朽化の著  
しい財務会計システムの更新に取  
り組むとともに、行財政改革の推  
進を図り、必要な市民サービ  
スを将来にわたり安定的に提供す  
るため、限られた財源と人材など  
を有効に活用した簡素で効率的な  
行財政運営に努めます。

今年度の基本的な考え方と重点  
施策について申し上げますが、  
市が目標として掲げている、緑と  
健康で豊かな文化都市」の実現に  
向けた市政運営に、引き続き全力  
で取り組んでいきますので、市民  
皆さんのご理解とご協力をお願い  
します。